

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 開催を予定していた日時・場所

日時	令和 3年 11月12日13時30分 ~ 14時	場所	医師会館理事長室
----	--------------------------	----	----------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
木下 均	地域住民の代表者	中川連合町内会 会長
井澤 一成	当該サービスに知見を有する者	中川地域ケアプラザ 所長
堀元 隆司 (欠)	当該サービスに知見を有する者	堀元歯科医院 院長
斉木 和夫 (欠)	当該サービスに知見を有する者	斉木クリニック 院長
小林 雅子	当該サービスに知見を有する者	小林クリニック 副院長
松信 哲朗 (欠)	当該サービスに知見を有する者	仲町台駅前まつのぶクリニック 院長
澤野 直美	市の職員又は地域包括支援センターの職員	都筑区役所 高齢者支援課係長
深澤 立	法人代表	
吉井 涼子	管理者	
宮島 佳代 (欠)	看護主任	
石濱 千秋	計画作成者	
箕輪 善果	看護リーダー	
青柳 かおる	副管理者	
羽後 みゆき	介護リーダー	
後藤 瑞佳	事務	
加藤 萌子	事務	

4. 活動状況報告

別紙(様式2~4)のとおり

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

虐待報告検討委員会の報告について

質問:虐待は行政への報告の義務があるが、ご本人がその対応や行政への報告を望んでいない場合などについては、どのように対応したらよいか?

回答:(行政)介護されている方に負担がかかりすぎていないか、確認は大事になってくる。虐待とまでは言えないが気になることがあり、判断基準に迷ったら、区役所の地区担当でも、ケアプラザの専門職にでも連絡くれれば、チェックシートの用意もある。家族の話聞くことで、介護負担がかかりすぎてないか、負担を軽減していく。今して頂いている対応でセオリーとしてあっている。
(医師)奥様の話を傾聴することは大事、話を聞いてもらおうと気持ちが楽になれると思う
(包括)日頃、包括支援でも地区担当、ケースワーカー、保健師が月1回集まり、虐待かもというケースから共有している。気になるケースなど連絡いただければ相談にのれると思う

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

上記、5. 活動状況に関する評価・意見・要望 と一緒に記載

7. 地域からの情報提供

特になし

8. その他特記事項

特になし

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

活動状況報告書(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 登録者の状況

登録者数(10月 31日現在)	女性	8名	男性	10名	計	18名		
要介護度	要支援1 名	要支援2 名	要介護1 0名	要介護2 1名	要介護3 2名	要介護4 1名	要介護5 14名	申請・区変中 0名

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者 (匿名)	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	20	1	14	4 (訪問看護)
イ	8	0	4	6
ウ	9	1	19	7
エ	8	0	44	1
オ	8	4	1	8
カ	9	0	24	6
キ	9	0	39	5
ク	20	1	27	7
ケ	31	27	6	4
コ	23	19	31	79
サ	15	6	24	24
シ	27	23	9	5
ス	21	16	0	62
セ	10	1	16	22
ソ	12	8	52	21
タ	7	3	21	18
チ	10	1	34	0
ツ	0	0	1	1 終了:10/1(入院)
テ				
ト				
ナ				
ニ				
ヌ				
ネ				
ノ				
ハ				
ヒ				
フ				
ヘ				
平均	13.72	6.17	20.33	平均要介護度 4.55

4. 運営方針

事業所の目標	(法人の理念、長期目標、月間目標など) 【利用者の獲得】1.適切な職員の確保と黒字転換 2.「ケアの理念」の実現 「ケアの理念」:その人の「生きる」を支える。 寄り添い、理解し、尊重する
目標に向けた具体的取組	1..カンファレンス等での利用者の情報共有を継続する 2.三蜜にならないように配信を活用し研修会を実施する。 3..利用者や家族の意向を反映した介護・看護での計画と共有を行う 4..地域に向けた研修計画の実施 5...新規職員の獲得とともに、既存の職員が充実した仕事ができ辞めないようにする

5. 活動報告

<p>【8月】 運営推進会議 安全衛生委員会・管理者会 運営会議 虐待報告検討委員会 虐待防止について研修会 喀痰吸引等関係者会議</p> <p>【9月】 安全衛生委員会・管理者会議 運営会議 虐待報告検討委員会 喀痰吸引等関係者会議</p> <p>【10月】 ACP研修会 ～もしバナゲームを通して～、腰痛予防について研修会 安全衛生委員会・管理者会議 虐待報告検討委員会 喀痰吸引等関係者会議</p>
--

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	<p>昼食のため居室で休んでいた利用者を起こしたところ、マスク着用しているのに、車椅子のハンドルにもう一枚マスクが掛かっていた。確認したところ、当該利用者の前に、入浴後にマスク着用をさせなかった利用者のマスクが脱衣所においてあり、そのマスクを装着させてしまった。</p> <p>【原因】入浴後の装着が徹底されていなかった。 外したマスクは記名がないため誰のものか分からなくなる。</p>
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・マスクの下部に記名する ・入浴時外した時は、マスク用のフックにかける ・マスク装着忘れの場合は、各職員声掛けをする
内容	<p>迎えの際、マンション敷地内、エントランス前の道路の駐車禁止ブロックとブロックの間に駐車し、利用者を乗せ出発する際に、前方にブロックがあることを忘れて、前進してブロックに車両の左前方をぶつけて破損させてしまった。衝撃は殆どなく、利用者の身体への影響はなかった。</p> <p>【原因】ブロックが運転席から見えないため、気を付けようと思っていたのに出発する際には、既に忘れていた。</p>
改善策	<p>【対策】 発進時に意識できるようにダッシュボードに注意書きの札を置く</p>

7. 地域への情報提供

<p>●訪問系サービス提供時の地域での困り事 訪問時の駐車場所の確保について苦慮している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模マンション・・・自治会によって対応が違う ・住民の理解、許容が難しい <p>【対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車許可書 ・駐車場所の確認・・・駐車場、路駐、コインパーキング ・今後、地域住民への理解を促す活動をしなければならないのか... <p>⇒すべての住人が理解がないわけでないと思うが、個人に直接言うと喧嘩になるから、町内会やマンションの会長に言ったらいい。苦労を掛けるけど、協力しあっていきたい。</p>

8. その他特記事項

特になし
